

東陽中だより

教育目標 ～明日を拓く～
・豊かな心 ・活きた知性 ・たくましい体
発行責任者 小野寺 憲治
文 責 佐々木 正道
発行日 平成28年12月22日

2学期終業式を終えて

小野寺 憲治

振り返りますと、本道におきましても8月下旬の三つの台風は至る所に爪痕を残し、本市では初となる避難所が開設されました。10月下旬からの降雪は過去に例がなく、根雪・降雪量・積雪は観測が始まって以来となる記録づくめの早い冬の訪れとなりました。今年も残すところ10日あまりとなり、年末年始に向け忙しい日々をお過ごしのことと推察します。

本日、2学期の終業式を迎えました。授業日数にして86日でした。この2学期も子どもたち一人一人がもっている可能性を学校生活のいろいろな場面で見ることが出来ました。

先日、各学年の授業参観が行われました。引き続いて各学年共にPTA行事も行われ軽スポーツやゲームを生徒と一緒に楽しみました。また、参観日に合わせて学校評議員の方にも授業を見ていただき感想やご意見を伺いました。「生徒の皆さんはしっかりと学んでいますね。」「久しぶりの授業参観でしたが楽しく感じられました。」等の感想を頂きました。大変悪路の中、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。

冬本番を迎え3年生は受験モードに突入しています。将来への夢をもち、進路実現に向けた三者懇談が終了し、その後、推薦入学希望者は校長による模擬面接を行いました。面接で最も重要なことは、なぜその学校を選んだのかという志望動機を明確に面接官へ伝えることです。多くの生徒はしっかり練習を積み臨みましたが、緊張し返答に詰まる生徒もありました。でもそこは模擬面接です。試験当日は、まだ先です。練習でいくらかでも克服できるものなので、冬季休業中の毎日を大切に、有意義に時間を使ってほしいと願っています。

高校入試は皆が通った道なので特別なことは必要ないと考えます。保護者の皆様におかれましては、温かく見守って頂き励ましをお願いします。3年生の皆さんは、自分に甘えることなく自己実現の一步を自分の力で切り開く力強さを見せてください。

平成28年は皆様にとりましてどのような1年となりましたでしょうか。子どもたちは大きな成果を上げました。また、課題もありますが大過なく過ぎようとしています。日ごろから学校に対しまして、保護者、地域の皆様からご支援ご協力をいただいておりますことに心からお礼と感謝を申し上げます。今後におきましても皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして平成28年の締めくくりの挨拶とさせていただきます。

アイヌ民族音楽会



＜1学年：音楽科＞

2年スポーツ大会



＜障害物借り人競走＞

校内研修



＜3年3組：道徳＞